

2. 協働の目的

近年の少子高齢化、**核家族化**などに伴い、価値観や生活スタイルが多種多様化する中、地域における問題や課題も大きく変化しています。それらの課題などを、行政だけが主体となって解決することが困難になってきています。

そのため、これからのまちづくりには、行政のみではなく、市民、地域組織、市民活動団体、事業者の力が必要です。

様々な主体が、それぞれの特性を活かしながら、お互いに協力し合ってまちづくりを進めていくことで、一生涯住み続けたいと思えるまちの実現を目指します。

市内には、地域コミュニティや子育て支援、文化芸術やスポーツ団体等、様々な分野で活動する団体が存在します。そういった**団体**と協働することで、魅力あるまちづくりを推進していきます。

3. 協働により期待される効果

協働には、行政のみでは対応することが難しい課題を解決することだけでなく、それぞれの主体において、次のような効果が期待できます。

◆市民活動団体にとっての効果◆

- ・ 知名度や印象が向上する。
- ・ 活動領域が拡大する。
- ・ 組織力の強化や能力が向上する。
- ・ 活動資金が獲得できる。

協働

◆行政にとっての効果◆

- ・ 多様な行政サービスを提供できる。
- ・ 魅力あるまちづくりが実施できる。
- ・ 市民参加の機会が拡大する。
- ・ 職員の意識改革や資質が向上する。

協働の効果

◆まちづくりを担う市民にとっての効果◆

- ・ 公共サービスの担い手となることで、自助・共助の力が向上する。
- ・ まちづくり活動に取り組むことで、地域へ参加するきっかけとなる。
- ・ 生きがいなど心の豊かさが向上する。
- ・ 新しい仲間が増え、社会とのつながりが広がる。
- ・ 教育において多種多様な機会により青少年の健全育成につながる。

◆「まち」としての効果◆

- ・ 市民の意見や思いが反映されたまちになる。
- ・ 市民の一体感が生まれ、活気あるまちになる。
- ・ 積極的にまちづくりに参加できるまちになる。
- ・ 地域社会に暮らす生活の質の向上につながるまちになる。